

「バイオリン演奏を通して、 「聞く力、感じる力、表現する力」を高める」

言語 コミュニケーション 音楽 キャリア 総合



- (1) ねらい
- ① バイオリンの生演奏を聴くことにより、演奏での息づかいや、聞き手に対してコミュニケーションをとりながら演奏している姿を感じる。
 - ② 作曲者がどのような状態のときに作曲したのか、時代背景や曲の特徴等を学ぶ。
 - ③ 演奏を聴き、そこで感じたものを言語化する。(例：曲名を考える。2つの演奏曲の違いを味わい、友達と話したりクラスで表現する。)
 - ④ 曲を解釈し、解釈したことを表現するために、どのようなテクニックが行われているのかを知る。
 - ⑤ バイオリニストである講師が、演奏の仕事で、会場のコーディネーターや他の演奏者と、呼吸を合わせて、音でコミュニケーションをとることで、感動的なシーンが演出されることを知る。

(2) 対 象 ・小学1年生～中学生、大人

(3) 講 師 久米 晶子 氏
現役バイオリニスト、現役バイオリン講師

(4) 形 式 ・所要時間 1 単位時間 (土曜授業可)
・クラス単位または学年単位で教室・集会室



- (5) 内 容
- ① バイオリン生演奏を鑑賞する。
・演奏者の仕事の体験を聞く。
 - ② 演奏からイメージしたものを言語化し発表する。
(3つの言葉を出す⇒曲名を考える⇒なぜその曲名をつけたのかを発表する。)
 - ③ 2曲演奏を聴き、それぞれの特徴の違いを感じ発表する。
 - ④ どのようにその曲が誕生したのか、作曲者、時代背景などについて学ぶ。
 - ⑤ 曲を解釈した上で、テンポ、間合い、表現の仕方がどのように行われているのか知る
 - ⑥ 児童・生徒とバイオリンで合唱する。



※児童生徒との合唱を希望される場合には、3週間前までに一緒に合奏する曲の楽譜を送ってください。

(6) 費 用 「講師謝礼」 10,000 円・・・(ご相談ください。)
事後に参加者からの感想文をお送り願います。

(7) 申込み **出前授業申込書** 実施1ヶ月前まで⇒学校支援ネットワーク本部へ送付
講師の方には、当本部から連絡をとらせていただきます。
進行や内容等の詳細は、講師の方と学校担当者と打ち合わせてください。